

平成 29 年度

遠軽町行政評価結果 資料

事務事業評価 評価調書（12 事務事業）

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名	エネルギー対策事業	記載日	平成 30 年 2 月 23 日
事業コード	会計区分 2 款 1 項 12 目	担当部課等名	総務部企画課
種実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度~年度)	責任者職氏名	課長 佐藤 祐治
種実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名	係長 松村 圭悟
総合計画での位置付け	基本方針	人と自然に思いやりのあるまちづくり	
	基本目標	自然とともに生きるまちづくり	
	施策目標	自然と調和した安らぎのあるまちへ	
		関連する計画、条例等	遠軽町エネルギービジョン

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
地球温暖化防止や環境保全に寄与するため、遠軽町エネルギービジョンに基づき、新エネルギー設備の導入を促進する。 また、エネルギー消費量の多い公共施設に効率的な新エネルギー設備の導入や省エネルギーの実践に向けた検討を行う。	町民及び町内事業所
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
環境にやさしい新エネルギー設備の導入により、二酸化炭素を中心とした温室効果ガス排出量の削減と光熱水費の削減などによる経費の節減を図ることができる。 また、新たな設備投資や資源の有効活用などにより、地域経済の活性化にも貢献することができる。	売電価格の低下等により、太陽光発電システムの設置件数が減少傾向にある。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)					
		平成27年度	平成28年度		平成29年度
		決算額	予算額	決算額	予算額
予算(決算)額		6,419	15,445	4,058	7,759
財 源 内 訳	国庫支出金				
	道支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料				
	起債				
	その他特財				
	一般財源	6,419	15,445	4,058	7,759

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬	58	15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	3,950
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費	37	21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	13	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費		25 積立金	
13 委託料		27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	
			左の合計 4,058

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	太陽光発電設置数	設置件数	件	177	200	167	84%	197	31
	成果指標	太陽光発電による年間温室効果ガス削減量	発電量×戸数×エネルギー量/排出係数	kg-co2/年間	504,811	393,364	461,108	100%	592,217	31
②	活動指標	ペレットストーブ設置件数	設置件数	件	30	30	26	87%	36	31
	成果指標	木質バイオマス燃料による年間温室効果ガス削減量	エネルギー量×灯油排出係数	kg-co2/年間	1,335,219	1,335,219	45,093	3%	1,335,219	31

○活動指標(達成率平均値) 86%
 ○成果指標評価値(達成率平均値) 52% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証		
評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない
② 有効性 期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない
③ 効率性 効率的に進められているか	2	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	2	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)		
	14 /20=	70% (β)

(2)検証結果

事務事業名 エネルギー対策事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
52%	70%	61%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)
			c

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性		(2)改善による成果とコストの変化																					
①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> D 見直し改善 </div> <div> 補助を活用した設置件数が減少してきており、より一層の制度のPRのほか、普及を図るための工夫が必要となっている。 </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;"> ↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止 </p> ②改善する上での課題等 太陽光発電及び木質バイオマスの普及は、再生可能エネルギー導入促進を図るために有効と考えるが、売電価格の低下や機能性の面から普及が進まないため、導入による有効性をPRするとともに、普及促進のための制度見直しを検討する必要がある。また、新エネルギー、省エネルギー設備等の情報収集に努め、より効果的な補助制度を検討する必要がある。		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">○具体的な成果、コストの変化内容</p> 設置件数が増加することで、温室効果ガスの排出削減量は増加するが、町が負担する額は増加する。			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上			○	現状維持				低下			
		コスト																					
		削減	現状維持	増加																			
成 果	向上			○																			
	現状維持																						
	低下																						

V 事務事業評価結果

1 調査審査結果(1次審査) 温室効果ガス排出削減のため、国の政策動向を見ながら、制度の在り方を検討すべき。	
2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査) 国の政策動向を見ながら、制度の在り方を検討するとともに、より一層の普及啓発を図るべき。	改善の方向性の検討結果 D A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止
3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定 国の政策動向を見ながら、制度の在り方を検討すること。	改善の方向性の最終決定 D A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	1	事務事業名	エネルギー対策事業
---------	---	-------	-----------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	3	101	エネルギー対策は、将来に向け重大な課題と考えますので、もっと力を入れてやってほしいです。 これまで行ってきた太陽光発電や木質バイオマスの普及を図るほか、水素エネルギーなどの新たなエネルギー設備についての検討を行うほか、省エネ機器等の導入促進などによる省エネルギーに対する取り組みを行います。
	自由意見			

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 道路橋りょう維持事業	記載日 平成 30 年 2 月 26 日
事業コード 会計区分 8 款 2 項 2 目	担当部課等名 経済部建設課
種実施期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 金沢 一彦
種実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 大澤 公浩
総合計画での位置付け 基本方針 人と自然に思いやりのあるまちづくり 基本目標 快適な生活空間づくり 施策目標 自然に思いやりのある道路環境の整備と充実	関連する計画、条例等 遠軽町橋梁長寿命化計画

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
既存の舗装道路及び砂利道路等の補修・修繕や側溝清掃等の維持業務を実施することにより、車両交通の円滑化や歩行者の安全性を図る。	町民
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
住民生活に欠くことのできないインフラの長期的な維持管理コストの縮減に向けて、構造物の定期的な点検・補修に努めることで長寿命化を図り、安心安全な道路環境を確保する。	構造物の定期的な点検・補修に当たっては、財源確保が不可欠なので、今後も社会資本整備総合交付金等の活用を図っていく。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)				
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	227,888	326,974	321,531	673,169
財 源 内 訳	国庫支出金	41,203	104,289	292,200
	道支出金		104,289	
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			7,013
	起債	42,200	56,000	193,200
	その他特財			
	一般財源	144,485	166,685	180,756

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	155,478
02 給料		16 原材料費	8,283
03 職員手当等		17 公有財産 購入費	
04 共済費	9	18 備品購入費	3,705
07 賃金	119	19 負担金補助 及び交付金	4
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費	11	21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及 び賠償金	
11 需用費	17,144	23 償還金利子 及び割引料	
12 役務費	2,616	25 積立金	
13 委託料	126,869	27 公課費	737
14 使用料及 び賃借料	6,556	28 繰出金	
左の合計			321,531

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	橋梁長寿命化数	補修件数	橋	2	1	1	100%	2	31
	成果指標	回復した橋梁の健全度件数	健全度件数/目標件数	橋	2	1	1	100%	2	31
②	活動指標	舗装補修	舗装補修等の面積	m ²	3,500	3,040	2,187	72%	3,500	31
	成果指標	舗装補修率	舗装補修等の面積/管理舗装面積	%	0.25	0.21	0.15	71%	0.25	31

○活動指標(達成率平均値) 86%
 ○成果指標評価値
 (達成率平均値) 86% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証			
評価項目	評価結果	特記事項等	
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	遠軽町総合計画の基本目標2 快適な生活空間づくり 2 自然に思いやりのある道路環境の整備と充実へに「緊急度、安全性などを優先した計画的な道路整備の推進」を施策として掲げており、目的の妥当性は大きい。
② 有効性 期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	遠軽町橋梁長寿命化計画にのっとり本事業を進めたことで、健全度の回復・維持管理コストの低減につながっており効果がある。
③ 効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	遠軽町橋梁長寿命化計画により本事業を進めているので、効率的と言える。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	4	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	町民全体が受益者となる事業である。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	町民アンケートの結果、12項目中重要度4位、満足度5位となっており、概ね反映していると言える。
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)			
	18	/20=	90% (β)

(2)検証結果				
事務事業名		道路橋りょう維持事業		
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)	
86%	90%	88%	b	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>計画的な道路維持補修及び遠軽町橋梁長寿命化計画にのっとり事業を進めており、また、財源に社会資本整備総合交付金等を活用していることから、現状維持が妥当である。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>構造物の定期的な点検・補修に当たっては、財源確保が不可欠となっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>現状維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>社会資本整備総合交付金等を有効に活用し、成果とコストの現状維持を図る。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成果	向上				現状維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成果	向上																					
	現状維持		○																			
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>円滑で安全な交通を確保するため、定期的な点検・補修に努めるべき。</p>		
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>定期的な点検・補修に努め、今後も計画的な維持管理を図るべき。</p>		<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>計画的な維持管理を図り、定期的な点検・補修に努めること。</p>		<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	2	事務事業名	道路橋りょう維持事業
---------	---	-------	------------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	10 134	橋梁の維持は寿命が近い箇所が多くなるので、今後難しくなると予想される。	損傷度、交通量、重要度等から遠軽町橋梁長寿命化計画で補修する橋と補修内容をさだめ、計画的に橋梁の長寿命化を図ります。
	自由意見			

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 緑化推進事業	記載日 平成 30 年 2 月 22 日
事業コード 会計区分 6 款 2 項 1 目	担当部課等名 経済部農政林務課
種実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 広瀬 淳次
種実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 主幹 加藤 政勝
総合計画での位置付け 基本方針 安全・安心で住みごこちの良い暮らしの場づくり 基本目標 快適でおいしいのある生活環境づくり 施策目標 美しいまちなみの形成	関連する計画、条例等

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等 自然と調和した緑あふれるまちとして都市環境を築きあげていくことを目標とし、環境保全・防災・景観形成といった緑がもつ様々な機能を十分発揮させることを目的としている。	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日 遠軽地域の町道に係る街路樹、湧別川河川敷桜等を主に管理
(3) 期待される効果 街路を美化し景観を形成するとともに、自動車の排気等を浄化、交通騒音を防止する。あわせて日陰を与え、葉からの水分蒸発により大気を冷涼する効果、植物から受ける安らぎ・豊かさ、緑の四季変化を感受できる。	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点 遠軽地域内の街路樹は植栽されてから30年程度経過し、倒木の危険性又は根が道路や歩道に伸び道路等の構造物の支障となっているほか、成長に伴い私有地にも根や枝が侵入し隣接者から伐採の要望がある。木の生長に伴い、枝や根が電線・道路及び民地へ侵入し支障をきたしている。

II 事務事業の実施結果【Do】

	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	4,359	4,577	4,213	4,682
財 源 内 訳	国庫支出金			
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
	一般財源	4,359	4,577	4,213

01 報酬	15 工事請負費
02 給料	16 原材料費
03 職員手当等	17 公有財産購入費
04 共済費	18 備品購入費
07 賃金	19 負担金補助及び交付金
08 報償費	20 扶助費
09 旅費	21 貸付金
10 交際費	22 補償補填及び賠償金
11 需用費	23 償還金利子及び割引料
12 役務費	25 積立金
13 委託料	4,213
14 使用料及び賃借料	27 公課費
	28 繰出金

左の合計
4,213

No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	管理箇所数	計画数(管理箇所の減)	件	19	19	19	100%	18	31
	成果指標	実施率	実施箇所/全体箇所	%	100	100	100	100%	100	31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) **100%**
○成果指標評価値(達成率平均値) **100%** (α)

III 事務事業の評価【Check】

評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	自然と調和した緑あふれるまちとして都市環境を築きあげていくことを目標とし、緑がもつ様々な機能を十分発揮させている。
② 有効性 期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	交通騒音を防止・大気を冷涼する効果、植物から受ける安らぎ・豊かさ、緑の四季変化を感受できる効果がある。
③ 効率性 効率的に進められているか	4 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	樹種により毎年剪定又は巡視を計画的に実施。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	2 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	遠軽地域での活動となっている。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	4 4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	町管理以外の指摘箇所があり、自治会等関係機関の意見を取り入れながら管理している。

○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満) 18 /20= 90% (β)

(2)検証結果

事務事業名 緑化推進事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
100%	90%	95%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>D 見直し改善</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>事業により管理実施している箇所が町民に理解されていない。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>事業全体の見直しにより、各維持管理の所管課での政策実施。老木に伴う新たな維持管理方法及び植樹帯の活用。関係機関と連携し、事業実施箇所の周知に努める。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>計画的な維持管理に努めることで、成果及びコストは現状維持となる。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上				現状維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上																					
	現状維持		○																			
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>枝や根が交通・構造物等への支障となっている箇所もあることから、維持管理方法を検討すべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>所管課間の連携を密にしながら、計画的な維持管理を図るべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>関係機関と連携し、計画的な維持管理を図ること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	3	事務事業名	緑化推進事業
---------	---	-------	--------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	17 207	美化・景観の形成では緑化樹の植栽・整備は大切と思うが、桜並木があれば春の楽しみなる。	湧別川河川敷地の桜枯損木あとに、計画的に植栽個所の土壌改良を行い桜の植栽を進めます。
	自由意見			

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 ごみ収集事業	記載日 平成 30 年 2 月 26 日
事業コード 会計区分 4 款 2 項 2 目	担当部課等名 民生部住民生活課
実施期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 小野寺 正彦
実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 大島 靖志
総合計画での位置付け 基本方針 安全・安心で住みごこちの良い暮らしの場づくり 基本目標 環境を保全し、衛生的なまちづくり 施策目標 ごみ処理の充実	関連する計画、条例等 遠軽町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 遠軽町一般廃棄物処理基本計画

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
一般家庭から排出される家庭ごみ及び一部事業系一般廃棄物の収集および運搬を民間委託により実施している。	町民 20,382人
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
ごみの収集運搬業務を実施することにより、ごみの減量化、再資源化を図り、地域の環境保全を図る。	遠軽地区広域組合えんがるクリーンセンターの稼働により、燃やすごみの範囲が拡大したことにより、プラスチックなどが全て燃やせると誤解している町民の方が多いため、更なる分別方法の周知徹底が必要と思われる。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)					
		平成27年度	平成28年度		平成29年度
		決算額	予算額	決算額	予算額
予算(決算)額		129,093	128,586	127,704	133,885
財源内訳	国庫支出金				
	道支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料	33,160	11,063	32,777	38,353
	起債				
	その他特財				
	一般財源	95,933	117,523	94,927	95,532

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費		21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	12,470	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	2,065	25 積立金	
13 委託料	113,169	27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	
			左の合計 127,704

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	ごみ収集稼働日数	ごみ収集している日数	日	310	310	310	100%	310	30
	成果指標	ごみ排出抑制量	平成22年度の排出量-当該年度の排出	t/年	1,649	1,393	738	53%	2,589	33
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 53% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証			
評価項目	評価結果	特記事項等	
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	町内において排出される廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られていると考える。
② 有効性 期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	一定程度、ごみの減量化と資源の有効活用が図られている。
③ 効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	資源ごみを分別、収集しリサイクルセンターに搬入後中間処理を実施し、再生業者に引き渡すことにより、ごみの減量化、資源の有効活用に寄与している。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	4地域とも基本的なサービスは公平になっているが、地域によってはごみの収集回数等に一部違いがある。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	反映してきていると考えるが、更なるごみの減量化と資源の有効活用に努める必要がある。
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)			
	15	/20=	75% (β)

(2)検証結果

事務事業名 ごみ収集事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
53%	75%	64%	c
		a: 90%以上(現状維持又は拡充)	d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)
		b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討)	e: 30%未満(休止・廃止)
		c: 50~69%(縮小又は見直し改善)	

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> </div> <div> <p>遠軽地区広域組合えんがるクリーンセンターの稼働により、燃やすごみの範囲が拡大など、分別の負担の解消も図られていることから現状維持とする。</p> </div> </div> <p>②改善する上での課題等</p> <p>燃やすごみの収集日の少ない地域から、収集日数増加を求める意見があるが、収集量やコスト面から実施には至っていない。 分別方法の変更により、燃やすごみの増加も考えられることから、今後、燃やすごみの量の状況をみながら検討する。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>現状の収集日を維持することで、コスト的な増加はない。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上				現状維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上																					
	現状維持		○																			
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>えんがるクリーンセンター稼働に伴う分別方法の変更について、さらなる周知を行うべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>分別方法の周知徹底を図り、さらなるごみの減量化と資源の有効活用に努めるべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>さらなるごみの減量化と資源の有効活用に向け、効果的な周知方法を検討し、分別方法の周知徹底を図ること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	4	事務事業名	ごみ収集事業
---------	---	-------	--------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	18	1	ほとんどが可燃ごみに出すことができるので良い。	遠軽地区広域組合えんがるクリーンセンターの稼働に伴い、燃やすごみの範囲が広がりましたが、全てが燃やすごみとなった訳ではありません。資源化できる物まで燃やすごみとして排出される方も多いため、分別方法の周知を行っていきます。
	自由意見	18	4	資源物の分別をもっと「かんそか」にしていきたい。今後さらに高齢者が増え、分別に苦労している人が多い。出した資源物は残さず持って行くようお願いいたします。	他町村に比べ、分別の区分は細かいと思われます。分別方法の変更に伴いパンフレットやポスターを作成し配布したほか、広報等にも記事の掲載をしながら、さらに周知を行っていきます。

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 鳥獣被害防止対策事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 6 款 2 項 1 目	担当部課等名 経済部農政林務課
種実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 広瀬 淳次
種実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 主幹 長原 裕一
総合計画での位置付け 基本方針 活気と創造性にあふれ、未来につながる産業づくり 基本目標 地域の資源をいかした産業のまちづくり 施策目標 農業の振興	関連する計画、条例等 遠軽町鳥獣被害防止計画

I 事務事業の概要【Plan】

(1)事務事業の沿革、目的及び内容等	(2)対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
鳥獣被害防止対策特別措置法に基づき作成した「遠軽町鳥獣被害防止計画」により、猟友会の協力のもと、エゾシカの個体数調整を目的とした捕獲及びヒグマ・キツネ・カラス等の鳥獣被害防止対策を実施する。	農業従事者及び一般町民
(3)期待される効果	(4)事務事業を進める上での課題、問題点
農林産物に被害を及ぼす鳥獣の捕獲を実施することにより、生産の安定化が図られる。捕獲従事者(狩猟者)に報償金等を支出することにより、狩猟者の意欲が増進され、もって狩猟者の増加が期待される。冬期間、エゾシカを囲いわなにより生体のまま捕獲することで、有効活用が図られる。	猟友会の地域間調整 カラスの巣除去 自防衛対策が講じられていない

II 事務事業の実施結果【Do】

(1)事務事業の予算の推移 (単位:千円)				
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	24,657	27,825	24,576	29,618
財 源 内 訳	国庫支出金			
	道支出金	700	700	700
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
一般財源	24,657	27,125	23,876	28,918

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	170
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	127
08 報償費	8,342	20 扶助費	
09 旅費	16	21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	388	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	14,103	25 積立金	
13 委託料	1,430	27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	
左の合計			24,576

(2)成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	エゾシカ駆除	駆除数	頭	1,050	1,050	1,008	96%	1,050	31
	成果指標	駆除による農業被害金額削減	JAからの聴き取り	千円	35,441	35,441	42,723	100%	30,772	31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 96%
○成果指標評価値(達成率平均値) 100% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果	特記事項等	
①目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	農林産物に被害を及ぼす鳥獣の捕獲を実施することにより、生産の安定化が図られている。
②有効性 期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	農林業被害の軽減が図られる。
③効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	各地域の捕獲体制に差がある。
④公平性 受益や負担が公平になっているか	4	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	地域の実情に合わせ捕獲頭数調整を行っている
⑤町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	生活住民からのキツネ・カラス対策についてが多く、農林業被害対策を主体とした事業実施との反映判断が難しい。
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)			
	18	/20=	90% (β)

(2)検証結果

事務事業名 鳥獣被害防止対策事業

成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
100%	90%	95%	a
			a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>目標設定頭数には到達しなかったものの、農業被害額は減少傾向にあることから継続して駆除を行う。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>住民生活に関連する市街地でのカラス・キツネ・エキノコックス対策を専門とする所管課の配置</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>確実に農業被害額は減少傾向にあるため、引き続き目標設定頭数に見合った予算措置を行っていく。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上				現状維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上																					
	現状維持		○																			
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>農林産物を守り、生産の安定化を図るため、猟友会と連携した対策が必要である。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>農林産物に被害を及ぼす恐れのある鳥獣の捕獲のため、引き続き狩猟者の担い手確保に努めるべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>B A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>狩猟者の担い手確保に努め、農業生産の安定化を図るため、引き続き取り組みを進めること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>B A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	5	事務事業名	鳥獣被害防止対策事業
---------	---	-------	------------

事項	報告書(資料種)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	満足や不満の理由、その他意見	25	23	若手狩猟者確保のための狩猟免許資格取得費用の助成。	鳥獣の捕獲に係る担い手の育成確保を図るため、狩猟免許の取得等に係る費用の一部助成を行っています。
	自由意見	28	124	清川、西町、豊里方面などで野生のキツネが町内を徘徊している姿を頻繁に見かけるので、衛生面が心配。駆除はしてもらえないと聞いたが、どこか遠いところに行くようにはできないか。プラザーコープの駐車場で、車に荷物を積もうとして車の扉を開けるのにカゴから目を離した一瞬に買ったばかりのお肉をカラスに奪われた。カラスの能力に恐怖を感じる。遠軽の鹿肉、熊肉料理は臭みも少なく、美味。もっと売り込んでジビエ料理としてもっと活用するといいいのでは。	遠軽町は住宅地付近に山林・畑が隣接しているため野生鳥獣が出没しやすく捕獲方法にも制限があります。市街地ではワナによる捕獲となり設置場所・安全確保等の諸条件に対し、資格を有する捕獲従事者の判断が必要となります。
	自由意見				

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 大型免許等資格取得支援事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 2 款 1 項 6 目	担当部課等名 総務部企画課
実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)	責任者職氏名 課長 佐藤 祐治
実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 松村 圭悟
総合計画での位置付け 基本方針 活気と創造にあふれ、未来につながる産業づくり 基本目標 安心して働ける環境づくり 施策目標 雇用環境の安定	関連する計画、条例等 遠軽町大型免許等資格取得支援事業実施要綱

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
大型自動車及び大型特殊自動車等の運転免許を取得することにより、就業機会の拡大や人材の確保を図るため、資格取得に係る費用の一部を助成する。	・遠軽町の住民基本台帳に3年以上継続して記録されている者又は遠軽町の住民基本台帳に記録され、町内事業所に勤務している者 ・18歳以上40歳未満の者
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
民間事業者の更なる就業機会の拡大が図られるとともに、高校卒業者等の若年層の町内への就業数の増加が期待できる。	免許取得後に町外へ転出する者についても制度の対象としていることから、助成した者が必ずしも町内で就業しているとは限らない。

II 事務事業の実施結果【Do】

	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	6,565	9,200	4,387	7,095
財 源 内 訳	国庫支出金	5,504	0	0
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
	一般財源	1,061	9,200	4,387

01 報酬	15 工事請負費
02 給料	16 原材料費
03 職員手当等	17 公有財産購入費
04 共済費	18 備品購入費
07 賃金	19 負担金補助及び交付金
08 報償費	20 扶助費
09 旅費	21 貸付金
10 交際費	22 補償補填及び賠償金
11 需用費	23 償還金利子及び割引料
12 役務費	25 積立金
13 委託料	27 公課費
14 使用料及び賃借料	28 繰出金
左の合計	
4,387	

No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	制度利用資格取得者数	制度利用資格取得者数	人	70	103	54	52%	80	30
	成果指標	新規求職者の就職率	就職件数/新規求職者数	%	39.5	39.0	36.0	92%	40.5	31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 52%
○成果指標評価値(達成率平均値) 92% (α)

III 事務事業の評価【Check】

評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	就業機会の拡大や人材の確保を目的としており、雇用の安定化や地元への就業機会の促進といった施策に対して、概ね貢献している。
② 有効性 期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	制度利用による資格取得者数は、制度開始である平成27年度よりは減少しているものの、毎年、制度を利用した免許取得者がある程度いることから、一応の効果があると考えられる。
③ 効率性 効率的に進められているか	2 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	制度利用者がすべて町内で就業するとは限らないことから、効率的には、あまりよくない制度となっている。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	2 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	若年層の就業機会の拡大を期待していることから、対象範囲に年齢制限を設けており、40代以上の免許取得者にとっては、若干の偏りがあると考えられる。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	2 4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	助成に対しては賛否両論あり、また、雇用の場の確保や他の職種への支援など様々な意見があることから、あまり反映されているとは言えない。
○事務事業評価値 (①～⑤の合計/満)		
	12 /20=	60% (β)

(2)検証結果

事務事業名 大型免許等資格取得支援事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
92%	60%	76%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>D 見直し改善</p> <p>↑ A拡充 B推進策検討 C現状維持 D見直し改善 E縮小 F休止・廃止</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>これまでの実績を調査・分析したうえで、見直すべきかどうかを判断する必要がある。</p> <p>免許取得後も町内に住み続け、町の人口を確保する制度とすることが求められているが、これまでの実績等を調査したうえで、改善の可否を検討する必要がある。また、年齢制限を撤廃することで、雇用の増加とは関係ない免許の取得の増加が予想される。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>年齢制限を撤廃することで、資格取得者は増加するが、その分コストも増加する。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上			○	現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上			○																		
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>これまでの実績を調査・分析したうえで、制度改正を含めた見直しを検討しながら、事業を継続するべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>町内での就業につなげるため、これまでの実績を調査・分析のうえ、制度改正を含めた見直しを検討しながら、事業を継続するべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A: 拡充 B: 推進策検討 C: 現状維持 D: 見直し改善 E: 縮小 F: 休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>実績を調査・分析のうえ、制度改正を含めた見直しを検討すること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A: 拡充 B: 推進策検討 C: 現状維持 D: 見直し改善 E: 縮小 F: 休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	6	事務事業名	大型免許等資格取得支援事業
---------	---	-------	---------------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見 満 足 や 不 満 の 理 由 、 そ の 他 意	31	23	<p>助成による取得者は、最低でも数年は町内に残すべき。条件の見直しが必要。事業自体はいいと思います。</p> <p>これまでの実績による調査・分析したうえで、より良い制度設計となるよう検討したいと思います。</p>
	自 由 意 見	70	15	<p>質問6のような就業の促進への取組で福祉事業への関心や人材の育成を促してくれるような助成や研修などへ目を向けてほしい。</p> <p>遠軽町では、町内の介護等に従事する人材の確保及び既に就労している介護職員等の資質の向上を図るため、研修の受講に係る費用の一部を助成する、介護職員初任者研修費助成事業を実施しております。今後においても、制度の利用拡大が図られるよう、周知に努めます。</p>

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 健康診査事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 4 款 1 項 3 目	担当部課等名 民生部保健福祉課
実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度~年度)	責任者職氏名 平間 敏春
実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 深澤 万喜子
総合計画での位置付け 基本方針 住み慣れたところで健やかに暮らせる生活づくり 基本目標 安心して健やかに暮らせるまちづくり 施策目標 保健対策の充実	関連する計画、条例等

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
【沿革・目的】自分の健康状態を確認し、生活習慣の改善、疾病の早期発見・治療につなげるとともに、町民の健康増進を図る 【内容】各種健診の実施とその費用の助成、各種相談等	がん検診は30歳以上の町民(項目により子宮がん20歳以上、胃がん40歳以上など条件が異なる)
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
疾病の早期発見・早期治療につなげることで、町民の健康増進と医療費を抑制が期待できる。また、健診結果により、保健指導を行なうことで、疾病を未然に防ぐことで町民の健康増進を図ることができる。	がん検診の受診率が低い、保険者努力支援制度での受診率の評価がされるため受診率向上が課題である

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)					
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額	
		予算額	決算額		
予算(決算)額	13,096	15,321	12,063	15,663	
財源内訳	国庫支出金	328	30	316	30
	道支出金		233		219
	分担金・負担金				
	使用料・手数料				
	起債				
	その他特財	1,360	1,190	1,434	1,175
	一般財源	11,408	13,868	10,313	14,239

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	
07 賃金	8	19 負担金補助及び交付金	
08 報償費	76	20 扶助費	346
09 旅費		21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	56	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費		25 積立金	
13 委託料	11,572	27 公課費	
14 使用料及び賃借料	5	28 繰出金	
左の合計			12,063

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	がん検診日数(集団)	計画数	日	18	18	18	100%	18	30
	成果指標	がん検診受診率(69歳以下)	がん検診受診数÷各検診対象者数	%	15	15	11	71%	20	30
②	活動指標	特定健診日数(集団)	計画数	日	15	15	15	100%	16	60
	成果指標	特定健診受診率(40-74歳国保)	特定健診受診者÷診対象者数	%	60	55	54	97%	60	30

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 84% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証			
評価項目	評価結果	特記事項等	
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	がん検診を始めとする検診を受けることにより、疾病の早期発見や生活習慣の見直しにつながり、町民の健康維持や医療費の削減に結びつく	
② 有効性 期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	がん検診等のガイドラインに沿って実施している。がん等の疾患の早期発見にはつながっているが、期待する有効性を得るためには受診率の向上が鍵となる。特定健診については、60%に近づきつつあり、一定の予防効果が出始めている	
③ 効率性 効率的に進められているか	3 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	従来からの集団検診やバス送迎検診に加え人間ドックの助成を増やす、町内医療機関でも受診可能としたり、ウェブ申込みの導入、フェイスブックの開設などしてPRに努めるとともに効率的に実施するように工夫している	
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	がん検診は概ね30歳以上の町民を対象にしており、その点では公平ではあるが、疾患の好発年齢を考慮し、対象年齢には差や年齢制限がある場合もある	
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3 4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	事業を実施していく中で、可能な範囲で妥当と判断される場合は町民の意見を聞き反映させている。理解が不十分なことで誤解されている意見もあるため理解を得るためのPR等も必要と考える	
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)		18 /20 =	90% (β)

(2)検証結果

事務事業名 **健康診査事業**

成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
84%	90%	87%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)
			b

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>B 推進策検討</p> <p>↑ A拡充 B推進策検討 C現状維持 D見直し改善 E縮小 F休止・廃止</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>効果があるとされる健診項目があれば取り入れる。さらに受診者を増やす</p> <p>受診対象者が国の指針で全町民を対象にする(職場検診や対象除外者も除外しない)ことになりがん検診の受診率が出しやすくなったが、受診率の目標を修正する必要がある。また、実施についてはがん好発年齢に対してのターゲットを絞って受診推進を図っていく必要がある</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>受診率が向上することにより、受診費用が増加するため事業としてのコストは増加する。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上			○	現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上			○																		
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>病気の早期発見・早期治療につなげるため、受診率向上に向けたさらなる取り組みを行うべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>町民の健康増進のため、各種検診の受診推進と健診項目の充実を図るべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>B A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>町民の健康増進のため、各種検診の受診推進を図ること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No. 7 事務事業名 健康診査事業

事項	報告書(資料種)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	36	34	事業内容としては前向きに受け取るが、社会保険を適応している事業所の6割は、健康診断を実施していません。よって、国民健康保険の適応者だけでなく、以外の人にも拡大すべきである。
		37	47	乳がん検診は、若いほうが進行が早いのに、40代からしか適応になっていないから。20代、30代から検診助成すべきだと思う。
	自由意見	72	26	げんき21で健診をやっていますが、旭川の病院などに行くよう勧められることが多いようですが、誰が勧めているかわかりませんが、遠軽で受診できるもの(胃カメラ、大腸カメラ)などは、遠軽町の病院を受診するように勧めたほうが良いのではないかと思います。そうしないと病院がなくなってしまうことではないかと思ます。
				平成20年度から特定健診・特定保健指導が開始され、国は各保険者が責任をもって健診を実施することとしています。自治体は国民健康保険加入者ということになります。各健康保険組合などが責任を健診を実施しその実施率等も評価の対象となっています。地元の医療機関でも委託されており受けることができますので、職場に確認をしてください。なお、がん検診はすべての町民が対象となっています。
				国が推奨している年齢は40歳からとなっていますが町が実施する検診では、35歳からを対象にしています。集団で実施しているマンモグラフィ検査は、40歳未満の若年層では乳腺が発達しているためがんの発見が難しいとされているためです。31年度からは、対象を限定して超音波検査を導入する予定で、より有効性を高めるように実施していきます。
				健診後で精密検査が必要となった場合には、医療機関を一覧表にして紹介していますが、受診可能な町内医療機関として掲載紹介しています。健診機関は、旭川がん検診センターにも委託していることからそこの受診も可能でご案内はしていますが、旭川を特定して勧奨はしていません。特定の病気でない限りは、医療機関を指定しての勧奨も行っておりません。

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 高齢者のりもの乗車助成事業	記載日 平成 30 年 2 月 26 日
事業コード 会計区分 3 款 1 項 3 目	担当部課等名 民生部保健福祉課
種実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (27 年度～ 29 年度)	責任者職氏名 課長 平間 敏春
種実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 佐藤 幸作
総合計画での位置付け 基本方針 4 住み慣れたところで健やかに暮らせる生活づくり 基本目標 2 住み慣れた場所でだれもがいいきと暮らせるまちづくり 施策目標 3 高齢者福祉の充実	関連する計画、条例等 遠軽町高齢者保健福祉計画 遠軽町高齢者のりもの乗車助成事業実施要綱

I 事務事業の概要【Plan】

(1)事務事業の沿革、目的及び内容等 高齢者のりもの乗車に要する運賃を助成する事業を行うことにより、高齢者の社会参加及び日常生活を支援し福祉の増進を図ることを目的とする。助成額は、バス及びハイヤー乗車1回につき100円とし、対象者一人につき年間72枚の乗車助成券を交付している。また、ハイヤー利用の際には相乗り乗車も可能としている。	(2)対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日 助成の申請時において遠軽町の住民基本台帳に登録されている70歳以上の者
(3)期待される効果 交通費の負担軽減を行うことにより、高齢者の外出しやすい環境を作り、介護予防と自立できる環境の手助けができる。	(4)事務事業を進める上での課題、問題点 助成対象のりものをバスに加えハイヤーも対象としたことから、利用者の増加が考えられる。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1)事務事業の予算の推移 (単位:千円)				
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	5,127	6,217	5,881	6,063
財源内訳	国庫支出金			
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
一般財源	5,127	6,217	5,881	6,063

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	
08 報償費		20 扶助費	5,777
09 旅費		21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	104	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費		25 積立金	
13 委託料		27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	
左の合計			5,881

(2)成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	のりもの助成券交付者数	交付者数	人	2,000	1,900	1,994	100%	2,100	31
	成果指標	高齢者の外出機会の増加	使用回数(交付者数×72枚×48%)	回	69,000	61,560	68,797	100%	70,000	31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 100% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果	特記事項等	
①目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	高齢者の社会参加及び日常生活を支援することで介護予防、自立出来る環境づくりが図られている。
②有効性 期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	外出する機会を多く作ることで介護予防、自立出来る環境が図られる。
③効率性 効率的に進められているか	4	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	申請後、直ぐに発行しりのりもの乗車に使用出来るよう対応している。
④公平性 受益や負担が公平になっているか	4	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	高齢者1人72枚(1回100円)を交付することで公平に利用されている
⑤町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	概ね反映されているが、制度の認識不足も感じるため周知方法等を考える。
○事務事業評価値 (①～⑤の合計/満)			
	19	/20=	95% (β)

(2)検証結果

事務事業名 **高齢者のりもの乗車助成事業**

成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
100%	95%	98%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)
			a

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>平成27年度にバスのみの助成からハイヤーまで拡大しており、現状を維持したい。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>利用者からの要望で、使用方法及び枚数の増等の要望があるが、改善により利用者の増が見込まれるため財源の確保が課題。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>制度の周知による利用者の増加や使用方法等の変更により高齢者の外出の機会の増が図られる。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上			○	現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上			○																		
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>制度の認識不足解消のため、周知方法を検討すべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>介護予防や高齢者の社会参加を図るため、さらなる制度周知を図るべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>介護予防や高齢者の社会参加の推進を図ること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No. 8 事務事業名 高齢者のりもの乗車助成事業

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	41	6	もう少し助成券を増やしても良いのではないかと。	平成27年度からハイヤーも利用できるように事業内容を変更した結果、高齢者から好評で利用が大幅に増えたところであり、現在の内容で実施していきたいと考えています。
	自由意見	41	21	1回の利用できる金額を上げてほしい。	平成27年度からハイヤーも利用できるように事業内容を変更した結果、高齢者から好評で利用が大幅に増えたところであり、現在の内容で実施していきたいと考えています。

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 文化祭事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 10 款 5 項 1 目	担当部課等名 教育部社会教育課
種実施期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度~ 年度)	責任者職氏名 課長 堀嶋 英俊
種実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 中南 秀隆
総合計画での位置付け 基本方針 文化を守り、未来につなげるふるさとづくり 基本目標 文化の薫りあふれるまちづくり 施策目標 芸術・文化活動の振興	関連する計画、条例等 遠軽町社会教育中期計画

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
遠軽町文化連盟及び各文化協会と連携し、地域住民による芸術文化に係る作品展示や芸能発表の機会を提供している。また、地域住民が主体となって取り組んでいる「安国地区演芸会」に対する支援に努めている。	町民等で構成される文化団体及び地域自治会
(3) 期待される効果	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点
あらゆる分野の文化団体が一堂に会し文化交流が図られることで、本町における芸術文化の振興が図られる。また、(仮称)えんがる町民センターの建設に向け、新たな文化活動の取組みに対する関心の高揚に繋がり、地域活性への効果が期待できる。	人口減少及び高齢化に伴う団体活動の低迷に対する指導支援や、団体指導者等の育成に対する継続支援に努めなければならない。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)				
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	136	451	408	700
財 源 内 訳	国庫支出金			
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
	一般財源	136	451	408

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	265
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	80
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費		21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	15	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	48	25 積立金	
13 委託料		27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	
左の合計			408

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	遠軽町文化祭事業開催件数	文化祭等開催件数	事業	5	5	5	100%	5	31
	成果指標	遠軽町文化祭事業来場者数	各文化祭等に係る来場者数	人	1,800	1,800	1,744	97%	1,800	31
②	活動指標	文化団体組織件数	遠軽町文化連盟(4文化協会)組織数	団体	4	4	4	100%	4	31
	成果指標	文化団体組織会員数	遠軽町文化連盟(4文化協会)加盟会員	人	550	600	577	96%	500	31

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 97% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証		
評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない
② 有効性 期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない
③ 効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	4	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)		
	17 / 20 =	85% (β)

(2)検証結果			
事務事業名	文化祭事業		
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [[α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
97%	85%	91%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A拡充 B推進策検討 C現状維持 D見直し改善 E縮小 F休止・廃止</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>人口減少や高齢化に伴い遠軽町文化連盟会員数及び自治会員が減少傾向にあるため、新たな人材確保が必要不可欠であり、日常的な文化活動を推進するため組織体制の見直しが必要である。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>現状維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>開催経費の一部を団体等の負担とすることで、公費負担の軽減及び地域活性に効果が期待できる。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成果	向上				現状維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成果	向上																					
	現状維持		○																			
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>文化団体等が減少傾向にあることから、文化活動を推進するため、継続して支援をしていく必要がある。</p>
--

<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>来場者・交流人口の拡大に向け、文化団体等と連携を図り、内容の充実に努めるべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
---	---

<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>来場者・交流人口の拡大に向け、文化団体と連携を図りながら、内容の充実に努めること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
--	---

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	9	事務事業名	文化祭事業
---------	---	-------	-------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など
	掲載頁	No.		
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	50	78	<p>今年度の芸能発表での観客は去年より少なく感じ、作品の展示の来客数も少なく感じました。文化祭での内容を工夫しては？</p> <p>文化祭事業の運営に関わる文化団体等も、年々減少傾向にある来場者数については大きな課題の一つとして認識しているところである。人口減少や高齢化は今後も影響してくることが考えられるため、今後も文化団体等との日常的な関係を密にし、課題解決に向けた取組みに努めます。</p>
	自由意見	50	88	<p>文化の向上のためにも、必要な事と存じます。町民センター建設も動きだしたため、より重要な事と思います。</p> <p>文化祭事業は日常的な文化活動の振興にとって欠かせない取組みの一つであると考えます。(仮称)えんがる町民センター建設に伴い、文化団体等の活動にさらなる発展が期待されることから、今後も支援に努めます。</p>

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 移住定住促進事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 2 款 1 項 6 目	担当部課等名 総務部企画課
種実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度~年度)	責任者職氏名 課長 佐藤 祐治
種実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 松村 圭悟
総合計画での位置付け 基本方針 文化を守り、未来につなげるふるさとづくり 基本目標 ふるさとを愛する心づくり 施策目標 地域間・国際間交流の推進	関連する計画、条例等

I 事務事業の概要【Plan】

(1)事務事業の沿革、目的及び内容等	(2)対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日
遠軽町への移住を検討している人を対象に、一定期間、町での生活・暮らしが体験できる「遠軽町お試し暮らし体験住宅」を貸し出し、移住定住の促進を図るとともに、町の活性化につなげることを目的とする。	都市部等に在住する移住希望者
(3)期待される効果	(4)事務事業を進める上での課題、問題点
遠軽町に短期滞在ができる機会を提供することで、移住を促し、定住人口の増加とそれに伴う地域の活性化を図る。 また、完全移住につながらない場合においても、二地域居住地として利用されることで、地域経済への波及効果が得られる。	観光を目的とする利用者もいることから、利用者の本気度を見極めて利用者を決定することが必要となっている。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1)事務事業の予算の推移 (単位:千円)					
		平成27年度	平成28年度		平成29年度
		決算額	予算額	決算額	
予算(決算)額		436	1,081	479	956
財源内訳	国庫支出金				
	道支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料				
	起債				
	その他特財				
	一般財源	436	1,081	479	956

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	50
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費	13	21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	249	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	138	25 積立金	
13 委託料		27 公課費	
14 使用料及び賃借料	29	28 繰出金	
左の合計			479

(2)成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	お試し暮らし体験住宅稼働率	稼働日数/1年間の日数	%	33.7	33.7	40.9	100%	33.7	H31
	成果指標	利用者で移住につながった人数	利用者で移住につながった人数	人	2	1	0	0%	4	H31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 0% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1)成果の自己検証					
評価項目	評価結果	特記事項等			
①目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	都市部等に在住する移住希望者をターゲットに、一定期間町の暮らしを体験してもらうことで、遠軽町の魅力を感じてもらえとともに、地域との交流が可能となるため、概ね貢献している。		
②有効性 期待された効果が得られているか	2	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	最終的には移住者や二地域居住者が生まれることを目的としており、今の所効果は得られていない。		
③効率性 効率的に進められているか	2	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	稼働率は目標より高いが、移住や二地域居住につながっておらず、あまり効率は良くない。		
④公平性 受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	観光目的であるか移住目的であるかを申請段階で見極めて入居の決定を行っており、概ね公平である。		
⑤町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	制度について周知不足が指摘されているが、人口を増やすための取り組みとして、概ね町民意見を反映していると考え。		
○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満)		13 /20=	65%	(β)	

(2)検証結果

事務事業名 移住定住促進事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
0%	65%	33%	d
		a: 90%以上(現状維持又は拡充)	d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)
		b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討)	e: 30%未満(休止・廃止)
		c: 50~69%(縮小又は見直し改善)	

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>B 推進策検討</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> </div> <p>移住実績がないため成果指標評価値が0%となったことから、評価のランクはdとなるが、長期的な視点で評価したい。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>移住や二地域居住につながるよう、住宅利用者に町の魅力を感じてもらえるような制度設計を構築する必要がある。</p>	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>現状維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>住宅を新たに整備することなく、体験プログラムの提供や地域住民との交流機会の確保などにより、コストをかけずに成果を伸ばすことができる。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成果	向上		○		現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成果	向上		○																			
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>移住や二地域居住につながるようなシステム作りを検討すべき。</p>		
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>移住や二地域居住につながるよう、町の魅力を感じてもらえるシステム作りを検討すべき。</p>		<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>移住や二地域居住につながるため、町の魅力を感じてもらえるシステム作りを検討すること。</p>		<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	10	事務事業名	移住定住促進事業
---------	----	-------	----------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	52	31	<p>今までにこの事業を利用した方は、どのくらいいるのか？また、実際に移住された方はいるのかなど、情報が少ない。</p>	<p>お試し暮らし住宅は平成26年度に整備し、6月から9月頃までの期間は、ほぼ毎日利用されています。ただし、整備から3年が経ちますが、今のところ利用者が移住にはつながっていません。今後、移住につながるような工夫した取り組みを考えたいと思います。</p>
	自由意見	53	47	<p>住宅がある場所がやや不便な場所だと感じますが、あえて不便な場所に行っているのですか？</p>	<p>都会の暮らしにつかれた人たちが、遠軽町の魅力である自然の中での暮らしを体験できるような場所に整備しております。田舎の不便さを体験することも、本気で移住を考える人にとって必要なことだと考えます。</p>

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 広報紙発行事業	記載日 平成 30 年 2 月 21 日
事業コード 会計区分 2 款 1 項 1 目	担当部課等名 総務部企画課
概実施期間 <input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)	責任者職氏名 課長 佐藤祐治
概実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 梁川朋紀
総合計画での位置付け 基本方針 町民と町が気軽に対話できるまちづくり 基本目標 町民とつくるパートナーシップのまちづくり 施策目標 ふれあいあふれるまちへ	関連する計画、条例等 遠軽町総合計画

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等 第2次遠軽町総合計画に基づき、町民とのパートナーシップによるまちづくりを推進するため、広報紙を毎月発行。定期に馴染まない緊急のお知らせとして瓦版も発行している。 また、ホームページを活用し、町内外を問わず広く情報提供を行うほか、広報紙の補完や災害発生時に緊急のお知らせも発信している。	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成29年11月1日 広報紙は町民、ホームページは町民をはじめ不特定多数を対象としている。
(3) 期待される効果 町民をはじめ多くの方々に対して、行政情報や各種イベント情報等を提供し、町政に対する理解を得るとともに、まちづくりに取り組む姿勢を広く周知することで、住民参加のまちづくりに寄与する。	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点 広報紙は自治会を通じて配布しているが、未加入世帯には公共施設やコンビニなどでの配布によるため、完全とはいえない。ホームページはインターネット環境のない住民は利用できない。

II 事務事業の実施結果【Do】

	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額
		予算額	決算額	
予算(決算)額	5,722	5,841	5,678	7,664
財 源 内 訳	国庫支出金			
	道支出金			
	分担金・負担金			
	使用料・手数料			
	起債			
	その他特財			
	一般財源	5,722	5,841	5,678

01 報酬	15 工事請負費	
02 給料	16 原材料費	
03 職員手当等	17 公有財産購入費	
04 共済費	18 備品購入費	8
07 賃金	19 負担金補助及び交付金	17
08 報償費	20 扶助費	
09 旅費	59	21 貸付金
10 交際費	22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	5,594	23 償還金利子及び割引料
12 役務費	25 積立金	
13 委託料	27 公課費	
14 使用料及び賃借料	28 繰出金	

左の合計 **5,678**

No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	広報紙配布世帯数	配布世帯数	世帯	8,500	8,600	8,492	99%	8,600	37
	成果指標	広報紙配布率	配布世帯数÷全世帯数	%	90	90	80	89%	90	37
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) **99%**
○成果指標評価値(達成率平均値) **89%** (α)

III 事務事業の評価【Check】

評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	住民参加のまちづくりを進める上で、町政に対する理解を得て、まちづくりに取り組む姿勢を見せることができた。
② 有効性 期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	町民に必要な情報を発信できた。
③ 効率性 効率的に進められているか	3 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	瓦版やホームページで補完はしているものの、広報紙の編集から発行までのタイムラグがあるため、最新の情報を全て掲載できない。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	広報紙は、配布を自治会に依頼しているため、未加入世帯へは公共施設やコンビニでの持ち帰りに依存していることから、全町民に配布できていない。 また、ホームページはインターネット環境がないと閲覧できない。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3 4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	広報紙・ホームページともに、町民アンケートの結果などを踏まえ、出来る限り情報を発信しているが、意見・要望が多岐にわたることや、さまざまな情報発信ツールがあり、全てにおいては対応が難しい。

○事務事業評価値 (①～⑤の合計/満) 17 /20= 85% (β)

(2)検証結果

事務事業名 広報紙発行事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
89%	85%	87%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">C 現状維持</p> <p style="font-size: 8px; margin: 0;">↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D: 見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> </div> <div> <p>広報紙・ホームページともに内容の充実に努めるとともに、広報紙掲載情報の選定、圧縮によりページ数を抑える。</p> </div> </div> <p>②改善する上での課題等</p> <p>広報紙は、人員や紙面量から、町民が必要としている情報全てに対応しきれない。また、主に町民を対象としていることから、情報を選定・圧縮することでページ数を抑えることが必要だが、印刷単価が年々上昇していることから、単純なコスト削減につながりづらい。配布も自治会未加入世帯に戸別配布するには労力・コスト面からみて対応できない。ホームページは、デザイン技術が複雑化しているため、担当職員のみでの努力で改善、維持継続していくことが難しいことから、職員の広報に対する意識啓発を図る必要がある。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>自治会未加入世帯には、現状通り公共施設やコンビニでの持ち帰りにより対応する。ページ数を抑えることで、印刷単価が上昇してもコストを現状で維持する。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上		○		現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上		○																			
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>町の情報発信をするために必要な取り組みであり、引き続き、内容の充実に努めるべき。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>引き続き、内容の充実に努めるとともに、未配布世帯に対する情報発信手段を検討すべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p style="text-align: center;">C</p> <p style="font-size: 8px;">A: 拡充 B: 推進策検討 C: 現状維持 D: 見直し改善 E: 縮小 F: 休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>引き続き内容の充実に努めるとともに、未配布世帯に対する情報発信手段を検討すること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p style="text-align: center;">C</p> <p style="font-size: 8px;">A: 拡充 B: 推進策検討 C: 現状維持 D: 見直し改善 E: 縮小 F: 休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	11	事務事業名	広報紙発行事業
---------	----	-------	---------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	57	43	一生懸命やり過ぎて、記事が多く読みたいくないのでは。	広報紙は、町政やお知らせなどを町民に伝える唯一の紙媒体であるため、記事が多くならざるを得ません。掲載する内容を簡潔にするなどの工夫を行っていきます。
		57	68	紙での情報は機械のない人・苦手な人には、大切な情報源。町内会に加入していない人にも配布する必要がある。町民全てに等しく町政を行うべき。	広報紙の定期発行は今後も必要と考えますが、自治会未加入世帯への配布は難しいため、公共施設やコンビニへの配架を継続していきます。
	自由意見	80	3	全体を通して、町行政として町の活性化発展に向けて、町民と直接意見交換する場を作っていただきたいと感じます。町民の声を聞くことが大切と考えます。	町からの一方的な発信だけでなく、町民の意見を町政に取り入れるため、移動町長室の実施や目安箱の継続設置と周知を行っていきます。
		80	7	遠軽町のPR動画を作ってほしい。瞰望岩のドローン撮影などは世界中に見てほしい。	YouTubeの公式チャンネルを開設。ドローンも購入したので、意見のあったものをはじめ、さまざまな素材を集め発信していきます。

平成29年度事務事業評価 評価調書

事務事業名 地域集会施設管理事業	記載日 平成 30 年 2 月 23 日
事業コード 会計区分 2 款 1 項 10 目	担当部課等名 民生部 住民生活課
種実施期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)	責任者職氏名 課長 小野寺 正彦
種実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 長尾 敦
総合計画での位置付け 基本方針 町民と町が気軽に対話できるまちづくり 基本目標 町民とつくるパートナーシップのまちづくり 施策目標 コミュニティ活動の充実	関連する計画、条例等

I 事務事業の概要【Plan】

(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等 地域住民の福祉の向上と、自治会活動や住民活動などの活性化を図るため下記施設を維持管理する。 遠軽地域：学田住民センター、西町住民センター 生田原地域：かぜる北、かぜる南、かぜる西、かぜる安国 丸瀬布地域：丸瀬布コミュニティセンター、地域会館(7か所) 白滝地域：白滝ふれあいセンター	(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日：平成29年11月1日 町民(20,382人)
(3) 期待される効果 地域の自治会や各種団体等が集会施設を活動の拠点とすることで、地域コミュニティ活動が活性化。また避難所に指定されている施設も多く、地域防災対策の拠点としての機能も果たすことができる。	(4) 事務事業を進める上での課題、問題点 建設後30年以上が経過した施設もあり、適切な修繕を行うなどして維持管理に努める必要がある。

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)					
	平成27年度 決算額	平成28年度		平成29年度 予算額	
		予算額	決算額		
予算(決算)額	7,356	21,595	18,952	11,651	
財 源 内 訳	国庫支出金				
	道支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料	1,375	1,173	883	852
	起債				
	その他特財				
	一般財源	5,981	20,422	18,069	10,799

○平成28年度決算額の節別内訳			
01 報酬		15 工事請負費	9,958
02 給料		16 原材料費	
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	31
07 賃金	1,108	19 負担金補助及び交付金	
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費		21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	5,635	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	890	25 積立金	
13 委託料	1,178	27 公課費	
14 使用料及び賃借料	152	28 繰出金	
左の合計			18,952

(2) 成果										
No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成29年度 目標値	平成28年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	地域集会施設設置数	設置箇所数	箇所	15	15	15	100%	15	31
	成果指標	地域集会施設使用料収入	使用料(各年度)	千円	852	1,173	883	75%	1,000	31
②	活動指標									
	成果指標									

○活動指標(達成率平均値) 100%
○成果指標評価値(達成率平均値) 75% (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証			
評価項目	評価結果	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	各施設は主として地域の自治会、住民等による主体的な活動の拠点として利用されており、コミュニティ活動を促進させるために必要不可欠なものである。
② 有効性 期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	地域の住民活動に加え、避難所として指定されている施設も多く、地域防災の拠点としても設置効果がある。また夏季のスポーツ合宿を受け入れている施設もあり、交流人口の増加という観点での効果も期待できる。
③ 効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率が良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	施設の一部は「公設民営」の形式をとり、実際の運営を地域の住民(運営委員会)に委ね、利用料の決定、徴収、日常的な管理をほぼ一元化して、維持管理の効率化を図っている。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	2	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	さまざまな用途に利用できる大小の集会室、研修室を有する施設もあるが、住民への周知が十分でないため、広く町内外の住民が利用できることが浸透しておらず、利用頻度が特定の団体に偏る傾向がある。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない	施設の適切な維持と有効利用を求める意見が多く、建物の経過年数と現況を勘案しながら所要の修繕や、利用の用途を広げるための改修工事等を行っている。
○事務事業評価値 (①～⑤の合計/満)			
	15	/20 =	75% (β)

(2)検証結果

事務事業名 地域集会施設管理事業			
成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
75%	75%	75%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】 ○自己評価する上での特記事項</p> <p>C 現状維持</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>地域防災の面での必要性を考慮すると、単純に近隣の住民数のみで存廃を判断できない施設であるため、当面は現状維持とする。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>現在では、地域住民による冠婚葬祭での利用がほぼ無くなっているため、必要な維持管理を続けながら安定した利用数を確保していかなければならない。そのために、老朽化した部分の修繕や、避難所としての機能を高めるための施設整備、また新たな活用方法にむけた居室等の改修や、積極的な利用を町民へPRすることなどが今後の課題となる。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>既存の集会施設について、その機能をできるだけ多様化させること、建物の延命化を図ることが求められる。そのためには、修繕や改修にかかるコストが現状よりも増加していくことになる。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上				現状維持			○	低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上																					
	現状維持			○																		
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>地域の活性化を図るため、施設機能の多様化と適切な維持管理に努めるべき。</p>		
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>地域防災面も考慮したうえで、適切な維持管理に努めるべき。</p>		<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>地域防災面での必要性を考慮したうえで、適切な維持管理に努めること。</p>		<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>C A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	12	事務事業名	地域集会施設管理事業
---------	----	-------	------------

事項	報告書(資料種)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	60	34	<p>災害時の避難場所に指定している施設については、年次計画により、施設として最低必要な設備、物品等の整備を、今後とも行ってほしい。町は、各々の地区(町内会)の住民の戸数、人口数を把握されていると思うので、その何%かの率で整備してほしい。</p>	<p>地域の集会施設が、実際に避難所として長期的に使用されることを想定した場合、建物や設備の現状が、安全かつ安心できる避難環境を十分に保障できる状態にないことは事実です。したがって、主として施設管理担当部署及び災害対策部署が自治会等と密に協議をし、優先順位を設けながら必要な修繕や物品の整備に要する予算を確保していきます。</p>
		62	95	<p>管理費が町税を使っている上に、使用料は取らなくて良いのでは？使っているのが選挙と葬式の時位のイメージがあります。もっと、各自治体、全町民が使える工夫必要ではないでしょうか？例えば利用がない時は遊具を入れ、子どもたちが体を動かせる環境を作る等</p>	<p>地域集会施設は原則的にどなたでも利用ができますが、その周知が十分でないため、近隣の住民しか利用できないというイメージが定着しているものと考えられます。主な施設の間取りや利用料、連絡先などを町広報やホームページに掲載し、広く町民に情報を提供できるよう、運営委託者と協議を進めていきます。</p>
	自由意見	89	67	<p>スマホだけのコミュニケーションではなく、気軽に集まれるスペースがあれば、町を活性化するイベントや、新しい事業などのヒントも生まれるかもしれません。大通りがさみしくなっている現在、人々が、オープンに交流できる場所があれば良いですね。(出来れば雨風しのげる場所で)</p>	<p>町内では地域の自治会が集会施設で定期的にサロンを開設したり、NPO法人が空家を活用したフリースペースの有償提供を行うなどの例があります。中心市街地では運営主体や駐車場の確保等の問題があり、町が建物を独自に取得することは困難ですが、建設が予定されている(仮称)町民センターの有効活用により、小規模な集会・交流スペースを持ちたいという個人・団体等のご希望に応えられるものと考えています。</p>